

事業所における自己評価結果（公表）

公表日：令和 5年 2月25日

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	7	0	国の定めた基準以上の広さを確保し、スペースは児童の特性に応じて適切に配置・利用しております。	法令を遵守したスペースを用意しておりますが、利用時間が重なる時間には手狭感が否めないこともあり、今後一層工夫してまいります。
	2	7	0	国の定める配置基準では、事業所に児童発達管理責任者・管理者を1名以上配置、児童10名までに職員2名を配置、それ以上の児童が利用する際には、児童5名につき職員を1名ずつ増員するというものになっており、その基準を厳守しております。	今後も人材確保をし、適切な配置に努めてまいります。
	3	3	4	現在、肢体不自由者の利用はございませんが、玄関やトイレの段差・狭さ、手すりやスロープ等バリアフリーとなっていないため、必要に応じて一部介助などおこなってまいります。	現在、身体的に介助を必要とする利用者様はいませんが、今後は安全の確保を促す為にも検討していきます。該当者の利用がない為、貸店舗にてハード面の改修は難しいですが、保護者様等のご意見を取り入れながら改善していきたいと考えております。
	4	7	0	毎日アルコール消毒や掃除を行い、換気に注意し、気持ちの良い空間を提供できるように努めています。	コロナはもちろんその他感染症等に注意し、今後も利用者様が心地よく過ごせる環境を日々追求してまいります。
業務改善	5	7	0	業務改善を図るためリフレクション会議を毎月開催しています。	リフレクション会議等で目標を明確にした話し合いをおこない、全職員に周知し、業務改善をおこなってまいります。
	6	7	0	自己評価を定期的におこない、改善の必要な部分については職員で共有し、保護者様のニーズを把握できるよう努めています。	評価内容は全体へ周知し、話し合いを通して業務改善に努め、今後とも改善に努めてまいります。
	7	7	0	COMPASS 発達支援センター公式Webサイトにて公開しております。	今後も公式Webサイトで公開してまいります。
	8	0	7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
適切な支援の提供	9	7	0	定期的社内研修をおこなっています。今年度は地域の研修にも参加し、オンライン受講なども活用しております。	今後も本社作成動画の視聴研修やオンライン研修、その他ケース会議などで勉強会を継続し、年間計画に沿った定期的な研修を実施し、職員の資質向上の機会を確保してまいります。
	10	7	0	定期的なアセスメントをおこない、個別支援会議ではその内容を元に支援内容を話し合い、計画を作成しています。	今後もアセスメントは適切におこない、送迎時にもご意見をお聞きし、話し合いを元に計画に活かしてまいります。
	11	7	0	標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めています。	今後も継続してアセスメントツールを活用し、児童の状況把握に努めてまいります。
	12	7	0	ガイドラインに沿い、支援が必要な項目を適切に選択し、具体的な支援内容の設定に努めています。また日々の打ち合わせや会議で児童の成長度合い・新しい課題を共有し、支援内容の適性を確認しています。	今後もガイドラインに沿って項目の選択・支援内容が適切になるよう努め、話し合いでの情報共有を通して日々の活動内容の決定、必要な支援の把握に努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	13	7	0	個別支援会議等で計画内容の把握をおこない、計画に沿った支援を行えるよう、個々の計画に沿った支援を全員で話し合っています。	今後とも、個々の計画の理解に努め、話し合いのもと計画に沿った支援を行ってまいります。
	14	7	0	職員全体会議で、活動プログラムを話し合い、チームで立案しています。	今後もプログラム立案には複数職員で関わり、話し合っており、より良い支援ができるように努めてまいります。
	15	7	0	活動プログラムの固定化を避けて、また偏りがないうよう職員間で協議し、内容を組み合わせています。	今後ともプログラムが固定化しないよう配慮し、児童の状態に基づき、協議を通して日々の活動決定に努めてまいります。
	16	6	1	児童の発達に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた支援計画を作成しています。	今後も児童の状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせ、支援計画を作成してまいります。
	17	7	0	毎朝必ず打ち合わせをおこない、その日の利用児童の支援内容や職員の役割分担を確認しています。	打ち合わせをもとに、日々利用児童の状態把握に努め、活動内容の決定、支援にあたってまいります。
	18	6	1	療育の担当が記録の記入、口頭での引き継ぎや定期的なケース検討会を開催し、情報共有をおこなっています。	今後とも、次の支援・活動に活かせるよう職員間で情報の共有、共通の理解に努め、支援にあたってまいります。
	19	7	0	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている。	支援内容だけでなく、余暇の時間の様子等も記録し、話し合いを通して支援の検証・改善に努めてまいります。
	20	7	0	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している。	今後とも、日々の療育での様子等を考慮しつつ、モニタリング等をおこない、適宜計画の見直しをおこなってまいります。
	21	7	0	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している。	今後も児童発達管理責任者が参画してまいります。
	22	7	0	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている。	今後も関係機関と密な連携を継続し、支援がおこなわれるように努めてまいります。
保護者への説明責任等	23	0	7	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	24	0	7	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている。	事業所は重症心身障害以外の児童が対象となっていることもあり、今後受け入れ希望があった場合は、慎重に検討し、受け入れ体制・事業所のあり方について模索してまいります。
	25	7	0	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	今後も利用児童の成長等、情報提供をおこない、相互理解のもと連携に努めてまいります。
	26	7	0	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	今後も利用児童の成長等、情報提供をおこない、相互理解のもと連携に努めてまいります。
	27	6	1	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている。	今後とも同様に、専門機関との連携を図り、助言や研修を受けてまいります。
	28	1	6	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある。	事業所についての理解を深めて頂く為に見学・話し合いなどを持つ機会があってもよいと考えていますが、保護者の考え等もあり様々な配慮が必要である。
	29	1	6	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加している。	日程調整が難しい面もありますが、機会があれば参加してまいります。
	30	7	0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。	あらゆる機会に、児童の様子をお伝えすると共に、ご家庭での様子や、課題なども伝え合い、共通理解のもと支援をおこなってまいります。
	31	7	0	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている。	今後とも保護者様のお悩みを傾聴し、子育てのご相談を受け、ご家庭でも取り組める効果的な関わり方などをご提案するなど、相互で連携した支援を心がけてまいります。
	32	7	0	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	今後も詳しく丁寧な説明に努めてまいります。
非常時等の対応	33	7	0	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら児童発達支援計画の同意を得ている。	今後も保護者様との共通理解のもと、計画を立案してまいります。
	34	7	0	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	今後とも、保護者様のご相談を傾聴し、丁寧な対応をおこなってまいります。
	35	0	7	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	コロナ過ということと、プライバシーの観点等もあり、開催するかはアンケート等を実施し決めていきます。
	36	7	0	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している。	今後とも同様に、ご意見や申し入れなどには迅速かつ丁寧に対応してまいります。
	37	7	0	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	今後も定期的な「おたより」や公式Webサイトでのプログラムの活動報告などを継続してまいります。
	38	7	0	個人情報に関する書類は鍵付き書庫で保管し、取り扱いは十分配慮しています。情報使用時には必ず保護者様に同意を得ています。	個人情報は今後も細心の注意を払って取り扱いや保管をおこなってまいります。
	39	7	0	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている。	児童や保護者様にご理解頂けるように分かりやすい説明や情報伝達を心掛け個々にあわせた対応をしております。
	40	0	7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	プライバシーの観点もあり、利用保護者様全員の理解や説明が難しい部分もあり、慎重に検討してまいります。
	41	7	0	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	今後も職員には周知徹底し、保護者様が確認しやすいよう掲示場所への配慮もおこなってまいります。
	42	7	0	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	今後も、児童の命を守ることを第一に考え、避難訓練を継続し、アンケートでも取り組む機会を踏まえ、実施内容の発信にも努めてまいります。
非常時等の対応	43	7	0	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している。	今後も継続して、保護者様から児童の状況についてしっかりと確認出来るよう努めてまいります。
	44	6	1	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	今後、アレルギー等のある児童の受け入れが開始となる場合は、医師と連携し指示書に基づく正しい対応を熟知し、安全な支援をおこなってまいります。
	45	4	3	事業所内外で起こった事例を記録し、定期的振り返りをおこなうことで情報共有をおこなっています。	主に口頭での引き継ぎが多くなっていますが、今後は記録での保管を行い、定期的な振り返りや新人職員等にも情報共有し、再発防止に努めてまいります。
	46	7	0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	今後も事業所内での研修を続け、虐待防止について知識を深めてまいります。
	47	7	0	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得る上で、児童発達支援計画に記載している。	今後も原則として身体拘束は行わない基本姿勢を守り、やむを得ず身体拘束を行う場合は、あらかじめ書面により保護者様から同意を得て、また、個別支援計画にも記載してまいります。